

2025年度

科目名	生物学
担当教員	岩崎 裕介
単位（時間数）	1単位（30時間）
履修対象・形態	1年生・講義
授業科目概要	歯科衛生士は生命科学の知識を必要とする。したがって、生物学では明らかにされた生命現象の基礎と最新の情報を面白く学ぶことを目的としている。
授業計画	① 生命とは何か。生命の誕生と変遷, DVd(1) 腎臓が寿命を決める ② 細胞の構造と機能、DVD(2) 驚きのパワー！ 脂肪と筋肉が命を守る ③ 細胞の一生と個体の成立、DVD(3) 骨が出す最高の若返り物質 ④ 生殖と発生、DVD (6) 「生命誕生 見えた！母と子のミクロの会話」 ⑤ 遺伝子とタンパク質合成 ⑥ 刺激の受容と反応、恒常性 ⑦ 地球環境 生命の共生、DVD (5) 脳すごいぞ！ひらめきと記憶の正体 ⑧ 単位試験 ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮
成績評価	期末試験とレポートおよび出席状況などで総合評価する。
教科書	最新歯科衛生士教本 生物学 医歯薬出版株式会社
参考書等	1. 理系総合のための生命科学 2. NHKスペシャル人体の神秘 巨大ネットワークDVD（1～7）
履修上の注意	教科書と配布資料を持参すること

2025年度

科目名	化学
担当教員	篠原 光子
単位（時間数）	1 単位（30時間）
履修対象・形態	1年次・講義
授業科目概要	歯科臨床で用いられる物質の科学的背景について理解する
授業計画	① 化学概論、原子、分子、周期表
	② 気体 液体
	③ 酸とアルカリ
	④ 酸と還元
	⑤ 有機化合物
	⑥ 糖質、アミノ酸、脂質
	⑦ 医薬品
	⑧ 終了試験
	⑨
	⑩
	⑪
	⑫
	⑬
	⑭
	⑮
成績評価	講義終了後、試験実施
教科書	全国歯科衛生士教育協議会 監修：最新 歯科衛生士教本 化学、医歯薬出版
参考書等	疾病の成り立ち及び回復過程の促進「薬理学」学建書院
履修上の注意	復習をする

2025年度

科目名	情報処理	
担当教員	河野 富有	
単位（時間数）	1単位（30時間）	
履修対象・形態	1年生	
授業科目概要	パソコンを使用した医療事務に役立つスキルの習得を目的とする。 Microsoft Word/Excel/PowerPointの具体的な操作方法を習得し、基礎的な知識と操作方法を習得する。 また各自プレゼンテーション資料を作成し、PowerPointを使用したプレゼンテーションも実施する。	
授業計画	①	コンピューター概論
	②	Wordの概要及び基本的な文書の作成
	③	ビジネス文書の作成 表の作成
	④	図形とイラストの挿入等
	⑤	Excelの概要及び集計表の作成
	⑥	関数を使った表計算
	⑦	データとグラフの作成
	⑧	データベースの活用等
	⑨	PowerPointの概要及び基本的な操作方法
	⑩	プレゼンテーションスライドの作成と様々な編集方法
	⑪	プレゼンテーションスライドの作成
	⑫	プレゼンテーション（発表）
	⑬	課題作成とまとめ
	⑭	総合演習と試験予習
	⑮	試験
成績評価	課題の提出(3回程度を想定) 及び試験	
教科書	『30時間アカデミック Office2016』 実教出版	
参考書等	授業時間内に適宜紹介する	
履修上の注意	PC初心者にも対応する授業となるため、個々人の作業時間の差を考慮し、私語等が無いよう十分注意すること。なお、4 Gバイト以上のUSBメモリを持参すること。	

2025年度

科目名	倫理学
担当教員	吉田 真一郎
単位（時間数）	1単位（15時間）
履修対象・形態	1年生・講義
授業科目概要	倫理学（歯科医療倫理）は言葉の意味を理解するだけでなく、対人間、患者さんに実践できることが大切である。コミュニケーションの基礎を学び、実践できるようにしていくことを目標とする。今後歯科衛生士になるにあたり、必要な基礎知識の習得ならびに、医療人としての考え方について双方向の講義を目指し、グループワークやカウンセリング実習をとおして、コミュニケーションスキルの習得も目指す。
授業計画	① なぜ倫理学を学ぶのか ② インフォームドコンセント、コミュニケーション ③ 口腔がんの治療を例にインフォームドコンセント、セカンドオピニオンについて ④ 親しらずの治療を例にインフォームドコンセント、セカンドオピニオンについて ⑤ 歯科衛生士のやりがい ⑥ コミュニケーションの大切さ ⑦ 守秘義務について ⑧ 国試対策 ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮
成績評価	課題、単位試験より評価する
教科書	全国歯科衛生士教育協議会監修：最新 歯科衛生士教本 歯科医療倫理 第2版、医歯薬出版
参考書等	
履修上の注意	率直、前向き、勉強好きの3点を意識し、学ぶ事を楽しもうとすること

2025年度

科目名	心理学
担当教員	岩下美穂
単位（時間数）	1 単位（30時間）
履修対象・形態	1 年次 講義
授業科目概要	医療の対象となる「人」について理解を深めることは、医療においても重要となる。この授業では、発達や人とかかわり方についての心理学的知見を身につけること、人間及び人間を取り巻く環境について心理学的な見方、とらえ方ができるようになること、自分自身についての理解を深め、医療の現場においていかに人とかかわっていくかについて、自分の個性・特性をふまえた上で考えられるようになることを目指す。
授業計画	① オリエンテーション ― 心理学とは ② 認知過程 ― 知覚と記憶 ③ 自己理解のために ― 「私マップ」づくり ④ コミュニケーション ― コミュニケーションのプロセスと援助的かかわり ⑤ 聴くスキル ― 聴くことの機能 ⑥ 聴くスキル ― 聴くスキルの実際 ⑦ 自己理解のために ― EPPSを用いて ⑧ 主張するスキル ― 上手に伝えるために ⑨ 発達 ― 発達とそれを支える環境 ⑩ 発達 ― 自我の発達漸成理論とピアジェの発達段階説 ⑪ 発達 ― 各発達段階ごとの特徴 胎児期・乳児期 ⑫ 発達 ― 各発達段階ごとの特徴 幼児期・児童期 ⑬ 発達 ― 各発達段階ごとの特徴 青年期・成人期・高齢期 ⑭ 神経発達症の理解と援助 ⑮ まとめ
成績評価	筆記試験により評価する
教科書	全国歯科衛生士教育協議会監修 『心理学』 医歯薬出版株式会社
参考書等	鈴木 伸一 編著 『対人援助と心のケアに生かす心理学』 有斐閣
履修上の注意	心理学を学ぶということは、自分のこと、周りの人のことについて考えることだと思います。自分にひきつけながら、そして歯科衛生士として現場に出た時のことをイメージしながら、積極的に考え、学んでください。

2025年度

科目名	文学（文章表現法）
担当教員	大谷 昇治
単位（時間数）	1単位（15時間）
履修対象・形態	1年生 講義・演習
授業科目概要	文章の内容を正しく読み取り、自分の考えをわかりやすく表現することは、社会人として必要不可欠である。この授業では、自分の考えを正しい表現方法で伝えることを第一の目的とし、文章構成、論文作成技法など実践を通して日本語表現の能力の向上を目指す
授業計画	① アカデミックワードと日常語
	② 句読点、見やすい表記
	③ わかりやすい文章の書き方
	④ わかりやすい語順
	⑤ 小論文の書き方
	⑥ 小論文作成のポイント
	⑦ 報告書、レポートの作成方法
	⑧ 小論文作成・提出
	⑨
	⑩
	⑪
	⑫
	⑬
	⑭
	⑮
成績評価	毎回の課題提出 小論文
教科書	なし
参考書等	随時プリントを配布
履修上の注意	毎回の提出課題は成績評価に反映しますので、必ず提出してください。

2025年度

科目名	運動生理
担当教員	辻 修嗣
単位（時間数）	1 単位（15時間）
履修対象・形態	1年生・ 講義・演習
授業科目概要	本科目では、運動が身体の機能や健康にどのような影響を与えるかを学びます。身体の仕組みを基礎から学び、筋骨格、循環器系、呼吸器系、神経系の運動時における働きを理解します。特に、運動と口腔機能とのつながり、運動による全身の健康増進、生活習慣病予防に与える効果について理解を深め、将来の患者指導や健康管理に役立つ知識を習得します。
授業計画	① 運動生理学総論
	② 筋骨格系と運動
	③ 循環器系と運動
	④ 呼吸器系と運動
	⑤ 代謝機能①生活習慣病と運動
	⑥ 代謝機能②ダイエットと運動
	⑦ 女性の体①内分泌系と運動
	⑧ 女性の体②脳・神経系と運動
成績評価	筆記試験と演習の取り組みにより総合評価する
教科書	なし（プリント配布予定）
参考書等	特になし
履修上の注意	講義に関して、十分な予習と復習をすること。演習は動きやすい服装で参加すること。

2025年度

科目名	歯科英語
担当教員	大谷 恭史
単位（時間数）	1 単位（30時間）
履修対象・形態	2年次・前期 講義
授業科目概要	近年増加傾向にある外国人患者に対して、受付での対応や必要最低限の治療説明などができるよう、基本的な歯科英語を習得する。
授業計画	① Making an Appointment by Telepone 発音、訳、会話練習 ② Requests for Medicine 発音、訳、会話練習 ③ Emergency Appointments 発音、訳、会話練習 ④ National Health Insurance 発音、訳、会話練習 ⑤ Asking the Patient to Describe Symptoms 発音、訳、会話練習 ⑥ Asking the Medical History 発音、訳、会話練習 ⑦ Periodontal Disease 発音、訳、会話練習 ⑧ Pregnancy 発音、訳、会話練習 ⑨ Why do I need a Cleaning 発音、訳、会話練習 ⑩ Informed Consent 発音、訳、会話練習 ⑪ Sealants 発音、訳、会話練習 ⑫ Fluoride Treatment 発音、訳、会話練習 ⑬ Tooth Brushing Instructions for a Child 発音、訳、会話練習 ⑭ Tooth Brushing Instructions for an Adult 発音、訳、会話練習 ⑮ Postoperative Instructions to the Patient 発音、訳、会話練習
成績評価	単位試験により評価
教科書	歯科英語 医歯薬出版株式会社
参考書等	
履修上の注意	

2025年度

科目名	英会話
担当教員	浅田 忠
単位（時間数）	1単位（15時間）
履修対象・形態	1年生 後期 講義
授業科目概要	国際化に対応できる英語力を養うと共に外国人患者様との文化と習慣の違いを理解し、豊かな感性を育む。また歯科分野に関連した英語の会話・英語彙・文章に取り組み、基礎的な英文カルテ用語の習得ならびに簡単な英会話能力を身に着ける。
授業計画	① オリエンテーション／Unit 1 Appointment ② Unit 2 At the Reception Desk (1)／Material YM（古典学術式医学英用語の理解） ③ Unit 3 Before the Treatment (1)／Material YM（英語による症状の理解） ④ Unit 4 At the Reception Desk (2)／Material YM（健康診断における英略語） ⑤ Unit 5 Before the Treatment (2)／Material YM（内科での病名に関する英用語） ⑥ Unit 6 Taking an X-ray／English Grammar {基本的な英文法のあれこれ} ⑦ Unit 7 Dental Care／Material YM（歯科での病名やその他に関する英用語） ⑧ Unit 8 How to Brush Your Teeth／Material YM（英米式医学英用語の理解） ⑨ Unit 9 Smoking and Eating Habits／Material YM（免疫学に関する英用語） ⑩ Unit 10 How to Prevent Gum Disease／Material YM（医療従事者の英用語） ⑪ Unit 11 Dental Health of Infants／Material YM（歯科における心身医療） ⑫ Unit 12 Dental Health Activities／Dentistry English Medical Record 1 ⑬ Unit 13 At an Adult Daycare Center／Dentistry English Medical Record 2 ⑭ Technique May Eliminate Drill-and-Fill Dental Care by Medical Front Line ⑮ 終講試験 {Examination for Dental Hygienists}
成績評価	終講試験（講義内における歯科英文カルテ作成点を含める）
教科書	◎歯科英語の練習帳：編者；宮田学 著者；橋本直子 発行所；（株）萌文書林 ◎担当講師が作成したマテリアルYM
参考書等	歯科衛生士・歯科医師のための実用英会話（医歯薬出版） 監修者；鈴木祥井 著者；齋藤由城
履修上の注意	歯科医師や歯科衛生士が治療において注意しなければならない疾患や施術法の修得

2025年度

科目名	安全管理	
担当教員	松下 渚	
単位、必修・選択	1単位（15時間） 必修	
履修対象・形態	2年次 前期 講義	
授業科目概要		医療安全とは患者中心の質の高い、安全な医療を提供するために医療安全の必要性・重要性を課題として認識し、安全な医療が遂行出来る体制・環境を整えるために必要な知識・技術の習得を目指します。
授業計画	①	安全管理と感染管理について
	②	医療法と歯科衛生士について
	③	ヒューマンエラー、インシデントレポートについて
	④	感染防止策の実際について（PPE装着）、歯科における医療事故とその対策について
成績評価	単位試験、レポート、授業態度、出席状況等を総合して評価する。	
教科書	歯科衛生士のための歯科医療安全管理 医歯薬出版株式会社	
参考書等	全国歯科衛生士教育協議会（編）「歯科診療補助論」医歯薬出版株式会社	
	歯科器械の知識と取り扱い 全国歯科衛生士教育協議会（編）医歯薬出版株式会社	
	感染予防対策と滅菌・消毒・洗浄 ICHG研究会（編）医歯薬出版株式会社	
履修上の注意	欠席・欠課をせず授業内容に意欲を持って受講すること。身だしなみを整え、教科書等忘れ物をしないこと。	

2025年度

科目名	解剖学 I
担当教員	吉川 雅朗
単位（時間数）	2 単位（60時間）
履修対象・形態	1 年生・前・後期 講義
授業科目概要	解剖学は人体の構造を学ぶ学問である。また歯科医学の最も基礎となる学問でもある。解剖学には、マクロレベルで学ぶ「肉眼解剖学」と、ミクロレベルで学ぶ「顕微解剖学=組織学」とがある。さらに、生命の始まりから成人の体になる過程を知る「発生学」についても学ぶ。
授業計画	① 解剖学総論、細胞 ② 組織、発生 ③ 骨格系 ④ 筋系 ⑤ 脈管系総論、心臓 ⑥ 循環器系 ⑦ 消化器系（消化管） ⑧ 消化器系（消化腺） ⑨ 呼吸器系 ⑩ 中枢神経系 ⑪ 末梢神経系、感覚器系 ⑫ 自律神経系、内分泌系 ⑬ 泌尿器系、生殖器系 ⑭ まとめ
成績評価	単位テスト（筆記試験）、出席状況
教科書	学生のための 解剖・組織・発生学 第3版：諏訪 文彦ほか著、医歯薬出版
参考書等	
履修上の注意	解剖学は歯科医学の全ての学問の基礎となるので、早く知識を身につけることが求められる。

2025年度

科目名	解剖学Ⅱ
担当教員	上村 守
単位（時間数）	1 単位（15時間）
履修対象・形態	1 年生 講義・実習（社会状況により中止の場合あり）
授業科目概要	解剖学で学んだ知識を実習を通して知識の確認をする。
授業計画	① 組織学実習（顕微鏡実習） ② 骨学実習
成績評価	出席状況、実習レポート（スケッチ）
教科書	学生のための 解剖・組織・発生学 第3版：諏訪 文彦ほか著、医歯薬出版
参考書等	
履修上の注意	実物をみてスケッチブックに形を描き、解剖学で得た知識を確認する

2025年度

科目名	生理学
担当教員	上田 純
単位（時間数）	1 単位（30 時間）
履修対象・形態	1 年次 前期 講義
授業科目概要	歯科を受診する患者は、様々な病態をもっている。これは口腔内だけに限らない。患者の病態を理解する上で必要なヒトの生理的機能を中心に講義していきたい
授業計画	① 生理学とは 細胞の構造と機能 ② 体液（血液） ③ 体液（体液の組成、酸塩基平衡） ④ 体液の循環 ⑤ 呼吸 ⑥ 消化と吸収 ⑦ 尿の生成と排出 ⑧ 代謝と体温 ⑨ 内分泌系 ⑩ 生殖 ⑪ 筋 ⑫ 神経（神経細胞、抹消神経系） ⑬ 神経（中枢神経系） ⑭ 感覚 ⑮ まとめ、期末試験
成績評価	筆記試験（100 点）にて60 点以上の成績を修めること
教科書	歯科衛生士テキスト 生理学 （覚道幸男他、学建書院）
参考書等	
履修上の注意	講義において発生した疑問点は、講師に質問するなり、自習で解決するなり対処しておくこと

2025年度

科目名	口腔解剖学
担当教員	隈部 俊二
単位（時間数）	2単位（60時間）
履修対象・形態	1年生・後期 講義
授業科目概要	口腔解剖学は、歯ならびに歯周組織を学ぶ学問で、歯科医学の最も基礎となる学問である。マクロレベルで学習する口腔解剖学と、ミクロレベルで学習する口腔組織学とがある。口腔は独立して存在するのではなく、全身の一部であり、歯と歯周組織も同様に全身と深く関わっている。口腔解剖学においては、歯と歯周組織について、「からだ」の一部としてその構造を学ぶ。
授業計画	① 総論
	② 歯の用語
	③ 永久歯の形態-1（前歯）
	④ 永久歯の形態-2（臼歯）
	⑤ 乳歯の形態
	⑥ 歯の鑑別
	⑦ 歯列と咬合
	⑧ 歯の異常
	⑨ 歯の発生
	⑩ 硬組織-1（エナメル質）
	⑪ 硬組織-2（象牙質）
	⑫ 硬組織-3（セメント質）・歯髄
	⑬ 歯周組織-1（歯根膜）
	⑭ 歯周組織-2（歯槽骨・口腔粘膜）
	⑮ 歯周組織-3（歯肉）
成績評価	出席状況、小テスト、単位試験にて評価する
教科書	全国歯科衛生士教育協議会編：最新歯科衛生士教本 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学、医歯薬出版
参考書等	
履修上の注意	口腔解剖学は歯科医学の全ての学問の基礎となるので早く確実な知識を早くにつけることが求められる。

2025年度

科目名	口腔生理学
担当教員	岩崎 精彦
単位（時間数）	2単位（30時間）
履修対象・形態	2年生・前期 講義
授業科目概要	口腔生理学は生理学の一分科である。おもに歯、咬合、咀嚼、嚥下、嘔吐、味覚、口腔感覚、唾液分泌および発声などをとり扱っている。口腔各器官の機能と各器官の相互関係から口腔機能の特徴を知り、口腔各器官の生理的メカニズムを理解させること。
授業計画	① 歯および歯周組織の生理
	② 咬合および顎運動
	③ 咀嚼および吸啜
	④ 嚥下および嘔吐
	⑤ 唾液腺および唾液
	⑥ 口腔感覚
	⑦ 発生および発音
	⑧
	⑨
	⑩
	⑪
	⑫
	⑬
	⑭
	⑮
成績評価	単位試験にて評価する
教科書	覺道幸男、吉田羊、西川泰央、杉村忠敬、内橋健二著：歯科衛生士テキスト 生理学、学建書院
参考書等	ビジュアル口腔生理学、学建書院
履修上の注意	講義の内容について毎回復習をおこたらない様にする

2025年度

科目名	生化学・口腔生化学
担当教員	涌本 昇
単位（時間数）	1 単位（30時間）
履修対象・形態	1 年生・後期 講義
授業科目概要	栄養素でもあり、体の構成成分、体の機能を調整する糖質、脂質、タンパク質、ビタミン、無機質の五大栄養素について学ぶ。又酵素、ホルモンについても学ぶ。歯を中心とする口腔組織の構成成分、歯の石灰化、唾液の化学組成と機能、歯垢（デンタルプラーク）を中心とする歯の堆積物について詳しく学ぶ
授業計画	① 糖質（定義、分類、単糖、二糖、多糖、糖質代謝） ② 糖質（定義、分類、単糖、二糖、多糖、糖質代謝） ③ 糖質（複合多糖） ④ 脂質（単純脂質、複合脂質、誘導脂質） ⑤ タンパク質（アミノ酸） ⑥ タンパク質（ペプチド、タンパク質） ⑦ 核酸（DNA, RNA、ヌクレオチド） ⑧ 酵素 ⑨ ビタミン（水溶性ビタミン、脂肪性ビタミン） ⑩ 無機質（Ca, P, Na, K, Mg, I, Fe, Cu, Zn） ⑪ 中間試験 ⑫ ホルモン ⑬ 消化、病態生化学 ⑭ 口腔生化学 ⑮ まとめ
成績評価	単位試験にて評価する
教科書	全国歯科衛生士教育協議会編：最新 歯科衛生士教本 栄養と代謝、医歯薬出版
参考書等	
履修上の注意	講義の内容と教科書の内容を毎回照らし合わせるなど、復習をおこたらないようにする

2025年度

科目名	病理学
担当教員	畑 慎太郎
単位（時間数）	1 単位（30時間）
履修対象・形態	1 年生・後期 講義
授業科目概要	病気の本態、すなわち病気の原因や成り立ちを理解し、病気の診断、治療ならびに予防に関する知識を学ぶ
授業計画	① 病因論 ② 病因論 ③ 代謝障害 ④ 代謝障害 ⑤ 進行性病変 ⑥ 循環障害 ⑦ 循環障害 ⑧ 炎症 ⑨ 炎症 ⑩ 免疫 ⑪ アレルギー ⑫ 腫瘍 ⑬ 腫瘍 ⑭ 腫瘍 ⑮ まとめ
成績評価	単位試験
教科書	渕端 猛ほか監修：イラストでわかる歯科医学の基礎、永末書店
参考書等	
履修上の注意	

2025年度

科目名	口腔病理学
担当教員	畑 慎太郎
単位（時間数）	1 単位（30時間）
履修対象・形態	2年生・前期 講義
授業科目概要	病気の本態、すなわち病気の原因や成り立ちを理解し、病気の診断、治療ならびに予防に関する知識を学ぶ
授業計画	① 歯の異常
	② 歯の異常
	③ 歯の付着物
	④ 歯の付着物
	⑤ う蝕
	⑥ う蝕
	⑦ う蝕、歯髄疾患
	⑧ 根尖性歯周炎
	⑨ 根尖性歯周炎
	⑩ 歯周疾患
	⑪ 粘膜の病変
	⑫ 顎骨の病変、のう胞
	⑬ のう胞
	⑭ 口腔領域の腫瘍
	⑮ 口腔領域の腫瘍
成績評価	単位試験
教科書	渕端 猛ほか監修：イラストでわかる歯科医学の基礎、永末書店
参考書等	
履修上の注意	

2025年度

科目名	微生物学
担当教員	高田春比古
単位（時間数）	1 単位（30時間）
履修対象・形態	1年生・ 講義
授業科目概要	歯科領域の2大疾患であるう蝕（虫歯）と歯周病は共に細菌感染症である。本科目では、病原微生物、特に病原細菌学の歴史を踏まえて、病原微生物の世界を概観した後、主要な病原体、即ち、細菌、ウイルス、真菌、原虫からプリオンに至る多彩な病原体とその感染症に関する基本的な知識を修得して、科学的な知識に基づいた感染症に対する正しい姿勢を身につける。
授業計画	① 微生物学、特に細菌学の歴史（p192-196） 微生物の世界（p 2-4） ② 感染論（p 5-12） ③ 細菌学総論：細菌の構造と生理（p13-20） ④ 細菌学総論：病原因子（p20-22）細菌の培養と観察（p32-39） ⑤ 小テストⅠ（細菌学総論）と解説 ⑥ 細菌学各論：主要なグラム陽性細菌とその感染症（p108-120） ⑦ 細菌学各論：主要なグラム陰性細菌とその感染症（p120-126） ⑧ 特殊な細菌：マイコプラズマ、スピロヘータ、リケッチャ、クラミジア（p126-130） ⑨ ウイルス学総論（p22-27, p35-36, p194-195） ⑩ ウイルス感染症（DNAウイルス）（p131-138） ⑪ ウイルス感染症（RNAウイルス）（p138-147） ⑫ ウイルス感染症（レトロウイルス 肝炎ウイルス）（p147-153） ⑬ 真菌と原虫（p27-31, p36, p154-160） ⑭ 小テストⅡ（微生物学各論）と解説 ⑮ 単位試験
成績評価	原則として、単位試験の成績に基づいて評価するが、適宜小テストの成績を考慮する
教科書	歯科衛生士学シリーズ、疾病の成り立ち及び回復過程の促進 2 微生物学（第2版） 全国歯科衛生士教育協議会監修、寺尾 豊 他 編著（医歯薬出版株式会社）
参考書等	適宜、プリントを配布する
履修上の注意	授業の範囲は膨大であるので、日頃の学習が必須である。少なくとも小テストの際にはテスト範囲の復習をして充分準備して臨むこと。積み重ねがあれば、単位試験は問題なくクリアできる。

2025年度

科目名	口腔微生物学
担当教員	高田春比古
単位（時間数）	1 単位（30時間）
履修対象・形態	2年生・ 講義
授業科目概要	歯科領域の2大疾患であるう蝕（むし歯）と歯周病に関わる口腔細菌を中心に、様々な口腔感染症並びに関連する医学領域の感染症に関わる病原微生物について専門的知識を習得する。さらに歯科臨床に必要な滅菌・消毒法についても専門的知識を習得する。これらの学習を通して、歯科衛生士として、感染症に対する正しい姿勢を身につける。
授業計画	① 口腔環境と常在微生物（p64-74） ② デンタルプラーク（バイオフィルム）（p75-82） ③ う蝕の細菌学（1）（p75-82） ④ う蝕の細菌学（2）（p83-90） ⑤ 歯周病の細菌学（91-100） ⑥ その他の口腔感染症（101-105） ⑦ 小テストⅠ（口腔細菌の感染症）と解説 ⑧ ウイルス学総論（p22-27, p35-36, p194-195） ⑨ ウイルス感染症（DNAウイルス）（p131-138） ⑩ ウイルス感染症（RNAウイルス）（p138-147） ⑪ ウイルス感染症（レトロウイルス 肝炎ウイルス）（p147-153） ⑫ 真菌・原虫・プリオンの感染症（p27-31, p36, p154-160） ⑬ 消毒と滅菌（51-61） ⑭ 小テストⅡ（ウイルス・真菌・原虫・プリオンの感染症、消毒・滅菌）と解説 ⑮ 単位試験
成績評価	原則として、単位試験の成績に基づいて評価するが、適宜小テストの成績を考慮する
教科書	歯科衛生士学シリーズ、疾病の成り立ち及び回復過程の促進 2 微生物学（第2版） 全国歯科衛生士教育協議会監修 寺尾 豊 他 編著（医歯薬出版株式会社）
参考書等	適宜、プリントを配布する
履修上の注意	授業の範囲は膨大であるので、日頃の学習が必須である。少なくとも小テストの際にはテスト範囲の復習をして充分準備して臨むこと。積み重ねがあれば、単位試験は問題なくクリアできる。

2025年度

科目名	薬理学
担当教員	篠原 光子
単位（時間数）	1 単位（30時間）
履修対象・形態	1 年生 講義
授業科目概要	薬物の基本的知識を理解して薬物と生体と疾患の三者のかかわり合いを念頭にいれ、歯科臨床において薬物を有効にかつ安全に使用できる能力を養う
授業計画	① I 編総論 歯科臨床における薬理学・歯科薬理学の意義 2 薬物療法と医療における薬物 ② 3 薬理作用 4 薬物の作用機序 ③ 5 薬物の適用方法と体内動態 6 薬物の作用を規定する因子 ④ 7 薬物の副作用、有害作用、相互作用 II 一般薬理学 2 中枢神経に作用する薬物 ⑤ 1. 末梢神経系に作用する薬物 4 緊急対応時に用いる薬物 ⑥ 3 呼吸器系・循環器系に作用する薬物 ⑦ 5. 消化器系に作用する薬物 6. 代謝系に作用する薬物 ⑧ 終了試験
成績評価	講義終了後 試験実施
教科書	歯科衛生士テキスト 最新薬理学 学建書院
参考書等	疾病の成り立ちと回復の促進 「薬理学」医歯薬出版、今日の治療薬 2023 南江堂
履修上の注意	代表的薬物名は覚える

2025年度

科目名	口腔薬理学
担当教員	篠原 光子
単位（時間数）	1 単位（30時間）
履修対象・形態	2年生・ 講義
授業科目概要	薬物について基本的事項を理解し薬物と生体のかかわり合いを念頭に入れ、歯科臨床において薬物を有効にかつ安全に使用できる能力を養う
授業計画	① 3. 痛みに用いる薬物
	② 4. 炎症に用いる薬物
	③ 1. 局所麻酔に用いる薬物 2. 止血・抗凝血に用いる薬物
	④ 5. 感染症に用いる薬物
	⑤ 6. 悪性腫瘍に用いる薬物 7. 免疫調節に用いる薬物
	⑥ 8. 腐食薬および収れん薬 11. 口腔粘膜疾患に用いる薬物
	⑦ 9. 歯肉療法に用いる薬物 10. 歯周病に用いる薬物 12. う蝕予防に用いる薬物
	⑧ 終了試験
成績評価	講義終了後 試験実施
教科書	歯科衛生士テキスト 最新薬理学 学建書院
参考書等	疾病の成り立ちと回復の促進 「薬理学」 医歯薬出版、今日の治療薬 2023 南江堂
履修上の注意	代表的薬物名は覚える

2025年度

科目名	口腔衛生学
担当教員	高島 怜子
単位（時間数）	2単位（60時間）
履修対象・形態	1年生 後期 講義
授業科目概要	口腔衛生学では、歯・口腔を健康に保つための原理を探り身につけることはもちろん大切である。 口腔衛生学では、1、歯・口腔の正常な状態と機能の理解を十分もつ 2、歯・口腔に起こる健康障害について十分な知識をもつ 3、健康障害の発生の阻止や予防、健康増進の具体的な手段、方法をも身につける
授業計画	① 健康の概念 ② 予防医学の概念・口腔衛生学の概念 ③ 歯科疾患の疫学 ④ 歯・口腔の健康 ⑤ 口腔の不潔 ⑥ 口腔清掃 ⑦ う蝕の予防 ⑧ フッ化物によるう蝕予防 ⑨ 歯周疾患の予防 ⑩ その他の疾患の予防 ⑪ 地域歯科保健指導 ⑫ ライフステージごとの口腔保健管理 ⑬ 地域保健・公衆衛生 ⑭ 母子保健・学校保健 ⑮ 成人保健・産業保健・老人保健
成績評価	定期試験（筆記：論述）、100点満点、60点以上で合格
教科書	全国歯科衛生士教育協議会編：最新 歯科衛生士教本 保健生態学、医歯薬出版
参考書等	口腔保健のためのフッ化物応用ガイドブック（財）口腔保健協会
履修上の注意	全ての講義に出席すること

2025年度

科目名	歯科統計学
担当教員	榊田 康宏（統計）、鈴木 亜紀（歯科統計）
単位（時間数）	1 単位 （30時間）
履修対象・形態	3 年生 講義・演習
授業科目概要	歯科衛生士の必要な統計処理のための基礎を学ぶ。齲蝕に関する統計処理、歯周疾患に対する統計処理、口腔の汚染に関する統計処理を学ぶ。
授業計画	① 度数分布表、ヒストグラム ② 代表値・散分図 ③ 保健情報と保健統計 ④ 共分散・相関係数 ⑤ 区間検定 ⑥ 検定 ⑦ 保健情報と疫学 ⑧ 統計学まとめ ⑨ 統計問題演習 ⑩ 歯科疾患の指標 ⑪ 口腔清掃・その他の歯科疾患の指標 ⑫ 国試過去問題演習 ⑬ 歯科保健情報統計のまとめ ⑭ ⑮
成績評価	単位試験（統計学40% 歯科統計学60%）授業態度
教科書	最新歯科衛生士教本 「保健情報統計学」 医歯薬出版
参考書等	最新歯科衛生士教本 「齲蝕予防処置法」 医歯薬出版
履修上の注意	統計学は90分しか休めません。歯科統計学は180分しか休めません。

2025年度

科目名	衛生学・公衆衛生学
担当教員	高山 由希
単位（時間数）	1 単位（30時間）
履修対象・形態	1 年生・ 講義
授業科目概要	衛生・公衆衛生学では健康に影響を及ぼす環境について学び、健康の保持増進、集団対象の保健施策を理解する基礎知識をつける。また、歯科衛生士にとって重要な学問である口腔衛生学や保健指導を学ぶための基礎となる学問である。
授業計画	① 衛生学 総論・予防医学・国際保健
	② 疫学・人口
	③ 人口
	④ 環境衛生
	⑤ 感染症
	⑥ 食中毒・国民栄養
	⑦ 地域保健(まとめ)
	⑧
	⑨
	⑩
	⑪
	⑫
成績評価	単位試験結果に平常点を加算して評価
教科書	全国歯科衛生士教育協議会編：最新 歯科衛生士教本 保健生態学、医歯薬出版
参考書等	
履修上の注意	それぞれの分野で配布資料を講義後に配布します

2025年度

科目名	衛生行政・社会福祉学
担当教員	薬師寺 健太郎
単位（時間数）	2 単位（30時間）
履修対象・形態	3 年生・前期 講義
授業科目概要	わが国の歯科医療従事者ならびに医療機関とその団体は国民の健康及び生活の衛生の維持・向上という社会の需要に沿った行動が求められている。それぞれの職種とその役割、医療の在り方並びに公衆衛生活動に関わる法制度並びに各種保健・社会福祉制度について講義を通じて理解を深めるとともに、社会に貢献する歯科衛生士のあり方やその活動の意義について考察を行う。
授業計画	① わが国の社会保障制度と衛生行政の概略 ② 衛生関係法規 1：医療・歯科医療に従事する職種とその業務にかかわる法律（医師・歯科医師法、歯科衛生士法、等） ③ 衛生関係法規 2：医療の円滑で安全な運用に関わる法律（医療法、医薬機等法） ④ 衛生関係法規 3：地域保健の運用に関わる法律（地域保健法、健康増進法、母子保健法、学校保健安全法、労働安全衛生法、高齢者医療確保法、歯科口腔保健法） ⑤ 衛生関係法規 4：社会の衛生維持に関わる法律（食品衛生法、感染症法、予防接種法、廃棄物処理法） ⑥ 社会保険制度 1：社会保険制度概論 ⑦ 社会保険制度 2：健康保険制度とその運用について ⑧ 社会保険制度 3：介護保険制度とその運用について。 ⑨ 社会保険制度 4：年金保険制度とその運用について。 ⑩ 社会福祉制度 1：社会福祉概論 ⑪ 社会福祉制度 2：生活保護制度について。 ⑫ 社会福祉制度 3：社会的弱者のための福祉制度について。 ⑬ わが国の医療の動向について。
成績評価	単位認定試験（筆記）にて行う。
教科書	歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み 2「保健・医療・福祉の制度」 歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み 1「保健生態学」 ＊共に（一社）全校歯科衛生士教育協議会監修
参考書等	
履修上の注意	

2025年度

科目名	社会保険制度
担当教員	榊田 康宏
単位（時間数）	1 単位（30時間）
履修対象・形態	3 年生・前・後期 講義
授業科目概要	現行の社会保険制度について実際の臨床症例を織り交ぜて解説する。
授業計画	① 歯科用語、略称について
	② 歯の知識について
	③ 歯科衛生業務について（検査など）
	④ 社会保険制度について
	⑤ レセプトと保険請求のしくみについて
	⑥ カルテ1号用紙記入方法
	⑦ 学校検査について
	⑧ 老人保健について
	⑨ 介護保険について
	⑩
	⑪
	⑫
	⑬
	⑭
	⑮
成績評価	単位試験にて評価
教科書	歯科保険請求マニュアル 令和6年度版 医歯薬出版
参考書等	
履修上の注意	

2025年度

科目名	歯科衛生士概論Ⅰ
担当教員	鈴木 亜紀
実務年数	１７年（歯科衛生士）
単位（時間数）	１単位（１５時間）
履修対象・形態	１年生・講義
授業科目概要	歯科衛生を実践して人々の健康づくりを支援する者となるために、保健医療人としての基本的態度を理解し、多様な科目において知識・技術を習得する態度および論理的思考法の基礎を習得する
授業計画	① 歯科衛生士の法的性格と業務内容 歯科医療の三要素 保健・医療・福祉分野の専門職の業務他 ② 感性を養う（観劇） ③ 栄養とは（調理実習準備） ④ 調理実習
成績評価	課題レポートによる評価
教科書	全国歯科衛生士教育協議会編：最新歯科衛生士教本 歯科衛生学総論、医歯薬出版
参考書等	
履修上の注意	欠席をしないように体調を整えましょう。

科目名	歯科衛生士概論Ⅱ
担当教員	鈴木 亜紀
実務年数	17年（歯科衛生士）
単位（時間数）	1単位（15時間）
履修対象・形態	3年生 前・後期 演習
授業科目概要	基礎・専門基礎・専門科目を分類別に演習を行い基礎学力の向上を目指す
授業計画	① 解剖学・生理学・生化学・病理学・微生物学等（基礎）
	② 保存修復学・歯周療法学・補綴学・口腔外科学・小児歯科学等（臨床）
	③ 矯正学・高齢者学・障がい者学・有病者歯科学・う蝕予防処置法等（臨床・衛生）
	④ 予防的歯石除去法・歯科保健指導・歯科診療補助論・臨床検査法・歯科放射線学等（衛生）
	⑤
	⑥
	⑦
	⑧
	⑨
	⑩
	⑪
	⑫
	⑬
	⑭
	⑮
成績評価	出席率（10％）・演習への取り組み（20％）・終講試験（70％）
教科書	資料配布
参考書等	
履修上の注意	全出席を基本とする

2025年度

科目名	保存修復学・歯内療法学Ⅰ
担当教員	森川 裕仁
単位（時間数）	1 単位（30時間）
履修対象・形態	1 年生・後期 講義
授業科目概要	歯科臨床科目の基礎として位置付けられている、保存修復学・歯内療法学の講義を通じて、う蝕や歯の硬組織疾患などの原因や発生、病態を学ぶ。またそれらの疾患に対する診断法・治療法などを学ぶことで、歯科衛生士としての業務および診療補助に必要な知識・技術を習得し、広く応用できるよう理解を深めることを、到達目標とする。
授業計画	① 歯科保存学の概要・口腔検査 ② 硬組織疾患の分類と解説 ③ 歯髄保存療法 ④ 間接修復法（インレー） ⑤ 直接修復（グラスアイオノマーセメント） ⑥ 直接修復（コンポジットレジン） ⑦ 間接修復（審美的インレー・ベニア） ⑧ ホワイトニング ⑨ 歯髄疾患・根尖性歯周組織疾患の解説 ⑩ 歯髄除去療法 ⑪ 根管治療（清掃・安全対策） ⑫ 根管充填 ⑬ 外科的歯内療法 ⑭ 歯の外傷 ⑮
成績評価	単位試験にて判断する
教科書	最新歯科衛生士教本（歯の硬組織・歯髄疾患 保存修復・歯内療法）
参考書等	必要に応じて資料を用意・配布する
履修上の注意	

2025年度

科目名	保存修復学・歯内療法学Ⅱ
担当教員	森川 裕仁
単位（時間数）	1 単位（15時間）
履修対象・形態	2 年生・前期 講義・実習
授業科目概要	歯科臨床科目の基礎として位置付けられている、保存修復学・歯内療法学の使用器材と治療の内容、診療補助業務の流れなどを、実習を通じて学び習得し、広く応用できるよう理解を深めることを、到達目標とする。
授業計画	① セメント充填（覆髄・裏層）・歯面接着処理 ② 印象採得・仮封 ③ 隔壁法（マトリックスバンド・リテーナー） ④ ラバーダム防湿 ⑤ 直接コンポジットレジン修復 ⑥ テンポラリークラウン調整 ⑦ テンポラリークラウン作成・仮着 ⑧ 根管治療（清掃）・根管充填 ⑨ 感染根管治療 ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮
成績評価	授業内の小テストおよび単位試験にて判断する
教科書	最新歯科衛生士教本（歯の硬組織・歯髄疾患 保存修復・歯内療法）
参考書等	必要に応じて資料を用意・配布する
履修上の注意	

2025年度

科目名	歯周療法学
担当教員	竹本 誠司
単位（時間数）	1 単位（30時間）
履修対象・形態	1年生・後期 講義
授業科目概要	歯周病の予防、治療について学ぶ。歯周病の分類や病態に関する知識を身につける。歯科衛生士として適切な治療選択をし、実行できるための基礎を学習する。
授業計画	① 正常な歯周組織について
	② 歯周疾患の分類
	③ 歯周疾患の病因
	④ 歯周疾患の病態
	⑤ 歯周疾患の診査、診断
	⑥ 歯周基本治療
	⑦ 歯周外科処置
	⑧ メインテナンス, SPT, 歯科衛生士業務
	⑨
	⑩
	⑪
	⑫
成績評価	試験成績
教科書	全国歯科衛生士教育協議会編：新歯科衛生士教本 歯周病学、医歯薬出版
参考書等	歯周治療学 医歯薬出版 等
履修上の注意	基礎的内容の習得に努める

2025年度

科目名	歯科補綴学
担当教員	小正 裕 油谷 征彦
単位（時間数）	1 単位（30時間）
履修対象・形態	1年生・後期 講義
授業科目概要	歯科補綴学では、顎口腔機能の健常な状態および障害のある状態について学習し、その障害を回復・維持するための、歯科補綴装置について、診断、治療、術後管理等に関する基本事項を学習する。また、補綴治療を必要とする患者に対する歯科衛生士としての対応の仕方について学習する。
授業計画	① 歯科補綴概論
	② 歯科補綴の基礎
	③ 全部床義歯補綴
	④ 部分床義歯補綴
	⑤ クラウン・ブリッジ補綴
	⑥ インプラント補綴
	⑦ 患者指導
	⑧
	⑨
	⑩
	⑪
	⑫
	⑬
	⑭
	⑮
成績評価	講義終了後、筆答により知を判定、評価を行う。
教科書	歯科衛生学シリーズ 歯科補綴学 医歯薬出版株式会社
参考書等	
履修上の注意	疑問等があれば、早い時点で質問し、不明な点がないように心がけてください。

2025年度

科目名	口腔外科学
担当教員	竹山 旭
単位（時間数）	1 単位（30時間）
履修対象・形態	1年生・後期 講義
授業科目概要	顎顔面領域の疾患について学習し、その診断、治療、手術器具、術後管理などに関する基本的事項および、歯科麻酔学についても学習する。その上で口腔外科治療における歯科衛生士の役割、対応の仕方についても学習する。
授業計画	① 口腔外科の概要
	② 基礎疾患について
	③ 口腔、顎顔面の異常
	④ 外傷 顎関節疾患
	⑤ 口腔粘膜疾患 血液疾患
	⑥ 炎症 舌腫脹と疾患
	⑦ 口腔腫瘍
	⑧ 唾液腺疾患 神経疾患
	⑨ 口腔外科診療の実際
	⑩ 口腔外科診療の業務
	⑪ 歯科麻酔
	⑫ 口腔外科 歯科麻酔の臨床における歯科衛生士の役割
	⑬ 口腔外科実習 心肺蘇生
	⑭ 口腔外科実習 外科器具
	⑮ まとめ
成績評価	単位試験
教科書	全国歯科衛生士教育協議会編：最新歯科衛生士教本 口腔外科・歯科麻酔、医歯薬出版
参考書等	
履修上の注意	質問等があれば、早い時点で質問し、不明な点がないように心がけてください

2025年度

科目名	小児歯科学
担当教員	佐々木 秀和
単位（時間数）	1 単位（30 時間）
履修対象・形態	2 年生・前期 講義
授業科目概要	教科書の重要点（過去に国家試験に出題された箇所、出題されそうな箇所）をまとめたプリントも配布する。また、教科書の内容と実際の臨床症例をスライドで示し、視覚的に印象づけながら内容を解説する。
授業計画	① 毎回 1 から 3 章ずつ進む予定 ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮
成績評価	単位試験
教科書	全国歯科衛生士教育協議会編：最新歯科衛生士教本 小児歯科学 医歯薬出版
参考書等	
履修上の注意	

2025年度

科目名	歯科矯正学
担当教員	大森 裕子
単位（時間数）	1 単位（30時間）
履修対象・形態	1 年生・後期 講義
授業科目概要	歯科矯正学は不正咬合や咀嚼障害の原因・治療法およびその予防法を研究する歯学の一分科であり、歯科矯正学を理解することは、口腔機能の異常、その治療法や予防法を理解するために役立ち、歯科衛生士として歯科医療に携わる際に必要である。授業では歯科矯正学の概要を理解し、口腔機能に対する理解をとおして不正咬合を見分ける力を与え、歯科衛生士として歯科医療に携わる際に必要な歯科矯正学上の知識の習得をはかる。
授業計画	① 矯正歯科治療の概要
	② 成長・発育
	③ 正常咬合と不正咬合
	④ 矯正歯科診断
	⑤ 矯正歯科治療と“力” ー矯正力・顎整形力・保定ー
	⑥ 矯正装置
	⑦ 矯正歯科治療の実際、矯正歯科臨床における歯科衛生士の役割
	⑧ 単位試験
	⑨
	⑩
	⑪
	⑫
	⑬
	⑭
	⑮
成績評価	単位試験を行い、臨床の携わった必要な知識が備わっているかを評価する。
教科書	全国歯科衛生士教育協議会監修：歯科衛生士学シリーズ 歯科矯正、医歯薬出版
参考書等	やさしくわかる矯正歯科治療 歯並びコーディネーター入門書 日本成人矯正歯科学会 編、医歯薬出版
履修上の注意	教科書の内容をもとに要点を整理し、国家試験の試験問題に対応できるようにお伝えします。臨床例を提示しますので、矯正治療の概略、メリットとデメリットについて理解し、臨床の場で充分に対応できる知識を身につけましょう。

2025年度

科目名	高齢者歯科学
担当教員	小正 裕 児玉 秀樹
単位（時間数）	1 単位（15時間）
履修対象・形態	2年生・前期 講義
授業科目概要	高齢者は、身体機能および口腔機能が低下していることが多く、全身疾患を有し、身体状況に個人差が大きいなどの特徴があるため、それを踏まえた対応が必要である。他職種連携が広がっている中、歯科衛生士は口腔の専門家として、高齢者の口腔機能を維持・向上させて管理する役割をもっている。そのための方法を体系的に学び、臨床に応用するための基礎知識を修得することを目的とする。
授業計画	① 高齢者をとりまく社会と環境、加齢による身体的・精神的変化と疾患
	② 高齢者の状態の把握
	③ 口腔健康管理
	④ 摂食嚥下リハビリテーション
	⑤ 摂食嚥下リハビリテーション
	⑥ 高齢者に関わる医療と介護、高齢者歯科における歯科衛生士の実践
成績評価	教科書を読み、講師に対する質問等準備を行う。講義終了後、試験を行い、出席状況と授業態度を加味し成績を評価する
教科書	「歯科衛生学シリーズ 高齢者歯科学 第1版 医歯薬出版
参考書等	
履修上の注意	疑問等があれば、早い時点で質問し、不明な点がないように心がけてください。

2025年度

科目名	障害者歯科学
担当教員	大槻榮人 大槻浩一 大槻麻
単位（時間数）	1単位（15時間）
履修対象・形態	2年生
授業科目概要	障害者歯科は乳幼児から高齢者まで幅広い年齢層に対して専門性が強く要求される領域とされている。身体的・精神的あるいは心理的に様々な疾患を持った患者に対する上で、歯科衛生士として理解しておかなければいけない特徴や歯科的対応について学習する。
授業計画	① 障害の概念
	② 歯科医療で特別な支援が必要な疾患①
	③ 歯科医療で特別な支援が必要な疾患②
	④ 障害者の歯科医療と行動調整
	⑤ 健康支援と口腔衛生管理
	⑥ リスク評価と安全管理
	⑦ 摂食・嚥下リハビリテーションにおける歯科衛生士の役割
	⑧ 地域における障害者歯科
成績評価	単位試験
教科書	全国歯科衛生士教育協議会「障害者歯科学」医歯薬出版株式会社
参考書等	
履修上の注意	

2025年度

科目名	有病者歯科学
担当教員	丸野 友大
単位（時間数）	1 単位（15時間）
履修対象・形態	2年生・前・後期 講義
授業科目概要	全身的な疾患を有する患者の医療の場や予後において、歯科治療に際し必要な知識に学ぶ。
授業計画	① 代謝・内分泌疾患
	② 消化器疾患
	③ 循環器疾患
	④ 血液疾患
	⑤ 呼吸器疾患
	⑥ 腎・泌尿器疾患
	⑦ 免疫疾患・膠原病
	⑧ 感染症
	⑨ 神経疾患
	⑩ 精神疾患
	⑪ がん
	⑫ 産科・婦人科疾患・妊婦
	⑬ 偶発症・救急医療
成績評価	単位試験
教科書	橋本健二・増本一真 編著：歯科衛生士のための全身疾患ハンドブック（医歯薬出版）
参考書等	西田百代監修、梶山加網 著：知らないではすまされない、有病者高齢者歯科治療のガイドライン上・下
履修上の注意	

2025年度

科目名	齲蝕予防処置法
担当教員	鈴木亜紀
単位（時間数）	2単位 60時間
履修対象・形態	1年生 後期 講義・実習
授業科目概要	齲蝕の基礎知識（発生・経過）の講義を行い、齲蝕を予防するための、手段・処置を実験・実習を通して知識、技能共に理解していくことを目的とする。大項目として、「齲蝕活動試験」「フッ化物応用」「小窩裂溝填塞法」を主軸におく。
授業計画	① 齲蝕予防処置総説 ② 齲蝕活動試験講義・実験 ③ 齲蝕抑制効果の評価およびスクリーニング手法 ④ 齲蝕予防処置アウトライン ⑤ う蝕リレー演習 ⑥ 唾液消化作用実験/齲蝕検出（レーザー実験） ⑦ フッ化物溶液（作成・味確認・量）実験 ⑧ フッ化物歯面塗布相互実習 ⑨ フッ化物イオン導入実習 ⑩ フッ化物フォーム相互実習 ⑪ フッ化ジアンミン銀作用実験 ⑫ フッ化ジアンミン銀塗布 相互実習 ⑬ 小窩裂溝填塞相互実習 ⑭ 齲蝕予防処置法の臨床 ⑮ 総括
成績評価	単位試験 実技評価 レポート 授業態度
教科書	「歯科衛生士のための齲蝕予防処置法」医歯薬出版
参考書等	最新歯科衛生士教本「保健生態学」医歯薬出版 最新歯科衛生士教本「保健情報統計学」
履修上の注意	補填実習はありませんので、各自、体調管理を整えて遅刻・欠席をしないようにしましょう。

2025年度

科目名	予防的歯石除去法 I
担当教員	堀井 幸代
単位（時間数）	2単位 60時間
履修対象・形態	1年生 前・後期 講義・実習
授業科目概要	予防的歯石除去法の観点から情報収集をし、計画を立て実行できることを目指し、相互実習の中で、記録の取り方や手技を磨く。今まで学んだ事を復習し、総括授業を行い、総合的な理解を目標とする。
授業計画	① 概要、マネキンの取り扱い ② 口腔の基礎知識 ③ 歯周疾患の基礎知識 ④ 口腔内の情報収集 ⑤ 口腔内診査実習、プロービング ⑥ 実習室の使用方法、実習事前オリエンテーション ⑦ スケーリングの種類と操作法 ⑧ 模型でのスケーリング実習 ⑨ シャープニング講義・実習 ⑩ 歯面研磨講義、歯面清掃器講義 ⑪ 歯面研磨相互実習 ⑫ ⑬ ⑭ ⑮
成績評価	単位試験 実技評価 レポート 授業態度
教科書	最新歯科衛生士教本 「歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版」 医歯薬出版
参考書等	最新歯科衛生士教本「歯周疾患」
履修上の注意	基本全出席 補講はありません。各自、体調管理を整えて遅刻・欠席をしないこと

2025年度

科目名	予防的歯石除去法Ⅱ
担当教員	堀井 幸代
単位（時間数）	3単位 90時間
履修対象・形態	2年生 前・後期 講義・実習
授業科目概要	スケーラーの種類と使用目的を説明でき、超音波スケーラー・エアースケーラーを操作できることを目標とする。歯周組織検査を実施し分析すること目標とする
授業計画	① 概要 ② 歯周組織検査分析 ③ エアースケーラー原理 講義・実習 ④ 超音波スケーラー原理 講義・実習 ⑤ キュレットスケーラー原理 講義・実習 ⑥ キュレットスケーラー原理 講義・実習 ⑦ キュレットスケーラーシャープニング ⑧ メンテナンス ⑨ 総括 ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮
成績評価	単位試験 実技評価 レポート 授業態度
教科書	最新歯科衛生士教本「歯科予防処置論・歯科保健指導論」 医歯薬出版
参考書等	最新歯科衛生士教本「歯周疾患」 最新歯科衛生士教本「口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学」 医歯薬出版
履修上の注意	基本全出席。補填実習はありませんので、各自、体調管理を整えて遅刻・欠席をしないようにしましょう。

2025年度

科目名	予防的歯石除去法Ⅲ
担当教員	堀井 幸代
単位（時間数）	1 単位 （30 時間）
履修対象・形態	3 年生 前・後期 講義・実習
授業科目概要	予防的歯石除去法の観点から情報収集をし、計画を立て実行できることを目指し、相互実習の中で、記録の取り方や手技を磨く。今まで学んだ事を復習し、総括授業を行い、総合的な理解を目標とする。
授業計画	① 歯面清掃器講義・演習 メンテナンスと S P T ② 相互実習（診査・記録・スケリーリング・歯面研磨） ③ 演習（練習問題） ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮
成績評価	単位試験 実技評価 レポート 授業態度
教科書	最新歯科衛生士教本「歯科予防処置論・歯科保健指導論」医歯薬出版
参考書等	最新歯科衛生士教本「保健情報統計学」医歯薬出版
履修上の注意	基本全出席。補填実習はありませんので、各自、体調管理を整えて遅刻・欠席をしないようにしましょう。

2025年度

科目名	歯科保健指導 I
担当教員	今井 恭子
単位（時間数）	1単位（30時間）
履修対象・形態	1年生・前期 講義・演習
授業科目概要	健康な口腔を維持するために必要となる口腔の基礎知識や口腔清掃に関する用具、歯科材料の知識および手技の習得、また対象者の行動変容を促すためのコミュニケーションや手法の理解を目的とする。
授業計画	① 歯科保健指導の概要
	② 口腔の基礎知識
	③ 口腔清掃用具
	④ 刷掃法の基本
	⑤ 歯磨剤及び洗口剤、歯垢染色剤
	⑥ 補助清掃用具
	⑦ O' Learyの評価
	⑧ 対象把握のための情報収集
	⑨ メディカルインタビュー
	⑩ 歯・口腔の疾患観察
	⑪ 歯科衛生過程の基礎
	⑫ まとめ
	⑬
	⑭
	⑮
成績評価	単位試験、小テスト、出席日数、授業態度により総合的評価
教科書	全国歯科衛生士教育協議会監修：歯科衛生学シリーズ歯科予防処置論・歯科保健指導論【医歯薬出版】
参考書等	
履修上の注意	積極的・意欲的な授業参加を行うこと。

2025年度

科目名	歯科保健指導Ⅱ
担当教員	今井 恭子
単位（時間数）	2単位（60時間）
履修対象・形態	2年生・前・後期 講義・演習
授業科目概要	各ライフステージと機能障害における目標を理解し、人々の歯、口腔の健康に関するセルフケアおよび健康維持のための健康支援に必要な専門的な知識・技術・態度を習得することを目的とする。
授業計画	① 対象者別保健指導の理解と歯科衛生介入 ② 行動変容理論 総論 ③ 禁煙指導 ④ 歯科衛生課程 ⑤ 合同実習 ⑥ 誘致患者実習 計画の立案 事前準備 ⑦ 有病者への口腔衛生管理Ⅰ ⑧ 臨床検査科学生への歯科保健指導 ⑨ まとめ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮
成績評価	単位試験、小テスト、出席日数、授業態度により総合的評価
教科書	全国歯科衛生士教育協議会編：最新 歯科予防処置論・歯科保健指導論、医歯薬出版
参考書等	歯科衛生士のための摂食嚥下リハビリテーション、歯科衛生士のための口腔機能管理マニュアル 医歯薬出版
履修上の注意	積極的・意欲的な授業参加を行うこと。

2025年度

科目名	歯科保健指導Ⅲ
担当教員	今井 恭子
単位（時間数）	1単位（15時間）
履修対象・形態	3年生・前・後期 講義・演習
授業科目概要	有病者における口腔衛生管理および口腔機能管理の意義と目的を理解し、必要な知識、技術および態度を習得する。また、地域歯科保健指導における歯科衛生士の役割を理解する。
授業計画	① 口腔衛生管理
	② 口腔機能管理
	③ 地域歯科における保健指導
	④ まとめ
	⑤
	⑥
	⑦
	⑧
成績評価	単位試験、小テスト、出席日数、授業態度により総合的評価
教科書	全国歯科衛生士教育協議会編：最新 歯科予防処置論・歯科保健指導論、医歯薬出版
参考書等	よくわかる歯科衛生過程 医歯薬出版
履修上の注意	積極的・意欲的な授業参加を行うこと。

2025年度

科目名	口腔保健管理Ⅰ
担当教員	鈴木 亜紀
単位（時間数）	1 単位（30時間）
履修対象・形態	2年生・前・後期 講義・実習
授業科目概要	観劇鑑賞により完成を高め、表現力を身に着ける。小学校でのブラッシング指導への媒体作成等の準備ならびにリハーサル、他学科学生、誘致患者への実習を通して対象別の歯科保健指導を学ぶ。
授業計画	① 小学校歯科保健指導ガイダンス ② 小学校歯科保健指導事前準備 リハーサル ③ 観劇鑑賞 ④ 誘致患者実習準備 ⑤ 誘致患者実習 ⑥ 他学科学生との合同実習準備 ⑦ 他学科学生との合同実習
成績評価	各講義（実習）終了後にレポート課題を提出 評価する
教科書	全国歯科衛生士教育協議会編：最新 歯科予防処置論・歯科保健指導論、医歯薬出版
参考書等	公益社団法人日本歯科衛生士会監修：歯科保健指導ハンドブック、医歯薬出版
履修上の注意	歯科保健指導の対象者のライフステージに合わせた実習ができるようにする

2025年度

科目名	口腔保健管理Ⅱ
担当教員	鈴木 亜紀
単位（時間数）	1 単位（15時間）
履修対象・形態	3 年生・後期 講義・演習
授業科目概要	3 年生の臨地・臨床実習をとおり、歯科予防処置論、歯科保健指導論、歯科診療補助論の内容を統合し、患者に適した口腔保健管理プログラムを作成し、実践できる能力をみにつける。他学科を通して多職種連携を考える。
授業計画	① 臨地・臨床実習における患者の把握について 個々の臨地・臨床実習の実習記録から考察 ② 個々の臨地・臨床実習の実習記録からプログラム作成 ③ 個々の口腔保健管理プログラム まとめ ④ 多職種連携（看護合同）
成績評価	作成した口腔保健プログラム提出により評価する
教科書	全国歯科衛生士教育協議会編：最新 歯科予防処置論・歯科保健指導論、医歯薬出版
参考書等	公益社団法人日本歯科衛生士会監修：歯科保健指導ハンドブック、医歯薬出版
履修上の注意	

2025年度

科目名	栄養指導
担当教員	福井 紀子
単位（時間数）	1単位 30時間
履修対象・形態	3年生・講義
授業科目概要	栄養学の基礎知識および健康の維持・増進のために必要な栄養素について理解する。さらに栄養上の問題点等を理解し、歯科衛生士として必要な栄養指導の基本知識を身につける。 また、う蝕や歯周病といった歯科疾患は、食生活ならびに生活習慣に大きく関与している。望ましい食生活の実践ができるよう、基本的な考え方や理論を身につける。
授業計画	① 栄養とは ② 糖質について ③ 脂質について ④ たんぱく質について ⑤ 脂溶性ビタミン ⑥ 水溶性ビタミン ⑦ ミネラル（マクロ） ⑧ ミネラル（ミクロ） 第6の栄養素 栄養素まとめ 食生活と健康 治療と栄養指導 食生活アドバイザー① 食生活アドバイザー② 食生活アドバイザー③、まとめ
成績評価	定期試験と授業態度
教科書	医歯薬出版 最新歯科衛生士教本「人体の構造と機能2 栄養と代謝」 女子栄養大学出版部「食品80キロカロリーガイドブック」
参考書等	女子栄養大学「栄養素の通になる」第5版
履修上の注意	

2025年度

科目名	歯科診療補助 I
担当教員	松下 渚
単位、必修・選択	2 単位（60時間） 必修
履修対象・形態	1 年次 前期 後期 講義・実習
授業科目概要	歯科診療補助や診療室の管理を行うにあたり、歯科衛生士として必要な基礎知識や器具・材料の名称、使用方法および歯科診療補助における歯科衛生士の役割を理解し、円滑なチーム医療が行えることを目標とする。
授業計画	① 概論・感染予防対策
	② 消毒・滅菌の実践 各種衛生材料の作製
	③ 共同動作
	④ 主要歯科材料の種類と取り扱い（合着セメント）
	⑤ 主要歯科材料の取り扱い（印象材）
	⑥ 主要歯科材料の取り扱い（歯科用石膏）
	⑦ ラバーダム防湿
	⑧ 歯周包帯
	⑨ 口腔内写真
成績評価	単位試験、実技試験、レポート、授業態度、出席状況等を総合して評価する
教科書	全国歯科衛生士教育協議会（編）「歯科診療補助論」医歯薬出版株式会社
参考書等	改訂版イラストと写真で分かる歯科材料の基礎 永末書店
	歯科器械の知識と取り扱い 全国歯科衛生士教育協議会（編）医歯薬出版株式会社
	チェアサイドアシスタントワーク デンタルハイジーン
履修上の注意	欠席・欠課をしないよう意欲を持って授業に挑むこと。身だしなみを整え、教科書等忘れ物をしないこと。

2025年度

科目名	歯科診療補助Ⅱ
担当教員	松下 渚
単位、必修・選択	1単位（45時間） 必修
履修対象・形態	2年次 前期 後期 講義・実習
授業科目概要	歯科診療補助や診療室の管理を行うにあたり、歯科衛生士として必要な基礎知識や器具・材料の名称、使用方法および歯科診療補助における歯科衛生士の役割を理解し、円滑なチーム医療が行えることを目標とする。
授業計画	① 主要歯科材料の取り扱い（印象材）
	② 仮封材
	③ 医療事故・ヒヤリハット・偶発事故
	④ 診療補助の実践
	⑤ 臨床実習前対策
成績評価	単位試験、実技試験、レポート、授業態度、出席状況等を総合して評価する
教科書	全国歯科衛生士教育協議会（編）「歯科診療補助論」医歯薬出版株式会社
参考書等	改訂版イラストと写真で分かる歯科材料の基礎 永末書店
	歯科器械の知識と取り扱い 全国歯科衛生士教育協議会（編）医歯薬出版株式会社
	チェアサイドアシスタントワーク デンタルハイジーン
履修上の注意	欠席・欠課をしないよう意欲を持って授業に挑むこと。身だしなみを整え、教科書等忘れ物をしないこと。

2025年度

科目名	歯科診療補助Ⅲ
担当教員	松下 渚
単位、必修・選択	1単位（45時間） 必修
履修対象・形態	2年次 前期 後期 講義・実習
授業科目概要	歯科診療補助や診療室の管理を行うにあたり、歯科衛生士として必要な基礎知識や器具・材料の名称、使用方法および歯科診療補助における歯科衛生士の役割を理解し、円滑なチーム医療が行えることを目標とする。
授業計画	① 主要歯科材料の取り扱いと管理
	② 歯科診療補助の実践
	③ 症例研究
成績評価	単位試験、実技試験、レポート、授業態度、出席状況等を総合して評価する
教科書	全国歯科衛生士教育協議会（編）「歯科診療補助論」医歯薬出版株式会社
参考書等	改訂版イラストと写真で分かる歯科材料の基礎 永末書店
	歯科器械の知識と取り扱い 全国歯科衛生士教育協議会（編）医歯薬出版株式会社
	チェアサイドアシスタントワーク デンタルハイジーン
履修上の注意	欠席・欠課をしないよう意欲を持って授業に挑むこと。身だしなみをしっかりし、教科書等忘れ物をしないこと。

2025年度

科目名	介護技術
担当教員	小室 八千代
単位（時間数）	1単位（30時間）
履修対象・形態	2年生・前・後期講座・演習
授業科目概要	歯科衛生士の働く現場では、高齢者や障がい者と多く関わることになり、安全に対応するためにも介護技術が必要になります。そこで、基礎介護技術について根拠を示しながら、より安全に実践できるよう解説し、演習をしていきます。また、個人の尊厳を尊重した介護ができるようにしていきます。
授業計画	① 授業オリエンテーション 介護とは何か、介護保険制度について理解 ② 健康状態の把握・・・血圧、脈拍、呼吸測定 教科書P 1 3 3～P 1 4 5 ③ 居室の環境整備・・・ビデオ学習（高齢者住宅の基本的アドバイス） ④ 住宅改修・福祉用具について理解 教科書P 2 0～P 3 4 ⑤ 衣類の着脱介助、褥瘡・廃用性症候群について理解 教科書P 1 2 1～P 1 3 2 ⑥ 視覚障がい者の歩行介助、杖歩行介助（2点・3点歩行）教科書P 6 3～P 6 9 ⑦ 食事介助、喀痰吸引・経管栄養 教科書P 7 0～P 8 6 ⑧ コミュニケーション技術・接遇（ロールプレイ） 教科書P 2～P 1 9 ⑨ 感染予防・・・手洗い、マスク、エプロン、滅菌手袋 ⑩ 清潔の介助・・・口腔ケア、手浴他 教科書P 1 4～P 1 6、P 1 0 9～1 2 0 ⑪ 体位変換 ボディメカニクス 教科書P 3 5～P 5 3 ⑫ 車いすの扱い方、ベッドから車いすの移乗介助 教科書P 5 4～P 6 2 ⑬ 排泄介助・・・排泄用品の紹介 教科書P 9 4～P 1 0 8 ⑭ 認知症の理解 ⑮ まとめ
成績評価	小テスト・授業態度・出席状況 3 0 % 定期試験 7 0 %
教科書	「前川美智子著：根拠からわかる介護技術の基本」 中央法規出版
参考書等	介護保険のパンフレット・・・ 大阪市「ハートページ」
履修上の注意	・授業の前に前回授業の小テストを実施するので復習すること ・実技練習は手際よく交代し必ず体験すること

2025年度

科目名	歯科材料学
担当教員	山口 哲
単位（時間数）	1単位（15時間）
履修対象・形態	3年生 前期
授業科目概要	欠損した顎口腔組織の形態と機能の回復を目的として、金属材料、高分子材料、セラミック材料、および複合材料が、日常臨床で広く使用されている。そのため、歯科衛生士は、これらの歯科材料について十分な知識と取り扱いの技能を習得する必要がある。本科目では、各種歯科材料の基本的な性質・用途・使用法ならびに保管方法についての知識を学修する。
授業計画	① 歯科材料の基礎知識
	② 印象材
	③ 模型用材料・ワックス
	④ 合着材・接着材
	⑤ 成形修復材
	⑥ 仮封材・暫間修復材と仮着用セメント
	⑦ 金属・セラミックス
	⑧ その他の歯科材料
成績評価	筆記試験
教科書	「歯科材料」，第1版第1刷 監修 一般社団法人 全国歯科衛生士教育協議会，医歯薬出版株式会社
参考書等	「イラストと写真でわかる歯科材料の基礎」，第3版， 監著 竹澤保政，編集 渡辺美里，永末書店
履修上の注意	次回の授業範囲を予習し、専門用語等の意味を理解しておくこと。

2025年度

科目名	臨床検査法
担当教員	秦野 満喜子
単位（時間数）	1 単位（30時間）
履修対象・形態	1年生・後期 講義・演習
授業科目概要	歯科診療は単に一口腔単位の診療ではなく、全身管理あるいは全身への影響という観点に留意しながら診療する必要性がある。チーム医療の一員にもなっている。そのための補助となるのが臨床検査であり、医療事故を未然に防ぎ、安全な診療を行う為にも臨床検査は重要な分野である。本講義では臨床検査の種類、目的、検査法の実際、検査結果をどのように解釈するかなどをスライドやプリントも加えて解説し、最後には実習を通じて基礎的な検査手技を学習する。
授業計画	① 臨床検査とは（生理検査、検体検査） ② 結果の表し方、バイタルサイン ③ 生理機能検査 心電図、脳波、呼吸機能 ④ 生理機能検査 画像検査（超音波、CT、MRIなど） ⑤ 採血法 血液学的検査法 ⑥ 生化学検査 肝機能 腎機能 ⑦ 免疫学的検査 ⑧ 血液型検査 ⑨ 尿検査 試験紙法 採尿法 ⑩ 微生物検査 塗末 培養 ⑪ 実習 血液型（オモテ試験、ウラ試験） ⑫ 実習 ヘマトクリット、出血時間 ⑬ 実習結果について ⑭ 疾病と検査
成績評価	単位試験
教科書	全国歯科衛生士教育協議会編：新歯科衛生士教本 臨床検査、医歯薬出版
参考書等	
履修上の注意	

2025年度

科目名	歯科放射線学
担当教員	木原 卓司
単位（時間数）	1 単位（30時間）
履修対象・形態	2 年生・後期 講義・実習
授業科目概要	エックス線が人間の五感に感じないことから、歯科エックス線診療の現場では、必要以上に怖がったり、逆に大胆になりすぎたりと、少なからず混乱を生じている。そこで、エックス線についての正しい知識を身に付け、患者に不安を与えないよう適切に行動できるようにする、ということを目指として、医学におけるエックス線の有用性とその利用の現況を解説するとともに、エックス線の人体への影響の発生の危険性とその防護法について解説する。
授業計画	① ビデオによる導入 ② X線の発生 一般的性質 減弱 ③ X線装置 撮影法 （口内法、口外法） ④ X線 フィルム ⑤ 写真処理（現像） ⑥ 正常像 撮影部位の判別 ⑦ 病的像Ⅰ（読影） 根尖病巣の診断 ⑧ 病的像Ⅱ 放射線障害Ⅰ ⑨ 放射線障害Ⅱ ⑩ 放射線防護 ⑪ 口内撮影相互実習 ⑫ 口内撮影相互実習 ⑬ 口内撮影相互実習 ⑭ 口内撮影相互実習 ⑮ まとめ
成績評価	単位試験
教科書	全国歯科衛生士教育協議会編：最新歯科衛生士教本 歯科放射線、医歯薬出版
参考書等	
履修上の注意	

2025年度

科目名	看護・救急蘇生法	
担当教員	村上 未恵	
単位（時間数）	1 単位（15時間）	
履修対象・形態	3年生・前期 講義・演習	
授業科目概要	超高齢化社会に伴い、医療の現場において治療中やその前後に医療事故がおこる危険性が増加します。この講義では、救命救急処置の基本を学びます	
授業計画	①	全身状態の評価と患者の管理 ① (全身的偶発症・ショック・酸素療法・血管確保について)
	②	
	③	全身状態の評価と患者の管理 ② (全身的偶発症・ショック・酸素療法・血管確保について)
	④	
	⑤	吸引法① (口腔内・気管内・鼻腔吸引の適応・留意点・手順)
	⑥	
	⑦	吸引法② (口腔内・気管内・鼻腔吸引の適応・留意点・手順)
	⑧	
	⑨	救急蘇生法① (DVD鑑賞・BLS演習)
	⑩	
	⑪	救急蘇生法② (DVD鑑賞・BLS演習)
	⑫	
	⑬	救急蘇生法③ (DVD鑑賞・BLS演習)
	⑭	
	⑮	終講試験
成績評価	教科書：最新歯科衛生士教本 顎・口腔粘膜疾患 口腔外科・歯科麻酔	
教科書	参考書：資料を作成して配布します。	
参考書等		
履修上の注意		

2025年度

科目名	臨地・臨床実習Ⅰ
実習施設	本校指定の実習施設
単位（時間数）	1 単位（45時間）
履修対象・形態	1年生 2025年6月2日～13日 2025年11月10日～14日
実習概要	歯科衛生士業務と歯科診療の流れを理解し、将来目指す歯科衛生士職の動機づけを目的とする。また、集団指導を2年生と合同実習により体験する。
実習計画	・ 歯科診療所 ・ 病院 歯科口腔外科 ・ 小学校
成績評価	臨地・臨床実習終了後 実習課題を提出 評価する
教科書	
参考書等	松井恭平ほか編：歯科衛生士のための歯科臨床概論、医歯薬出版
履修上の注意	全出席を基本とします。コロナ感染状況によっては臨地実習（小学校）できない場合があります

2025年度

科目名	臨地・臨床実習Ⅱ
実習施設	本校指定の実習施設
単位（時間数）	7 単位（315時間）
履修対象・形態	2 年生・2025年11月17日～2026年2月13日
実習概要	2年次の臨床実習は、学内で習得した基礎的な知識や技術を理論的に整理し、歯科医療現場ならびに福祉施設において理解を深める。また、歯科診療補助、歯科保健指導、歯科予防処置の理解を体系的に深める。さらに、総合病院（病棟）では歯科衛生士が実施する口腔ケアの見学実習を体験し、全身管理の知識と技術を学ぶ。
実習計画	・ 歯科診療所・病院 歯科口腔外科 ・ 高齢者福祉施設 ・ 障害者歯科
成績評価	臨地・臨床実習終了後 総合評価
教科書	
参考書等	松井恭平ほか編：歯科衛生士のための歯科臨床概論、医歯薬出版
履修上の注意	全出席を基本とします

2025年度

科目名	臨地・臨床実習Ⅲ
実習施設	本校指定の実習施設
単位（時間数）	12単位（540時間）
履修対象・形態	3年生・2025年6月2日～7月4日、9月1日～10月3日、10月6日～11月7日
実習概要	3年生の臨床実習は、2年生の臨床実習で習得した知識や技術をより向上させることを目的にする。また、保健センターでの臨地実習では1.6歳児、3歳児の健診をとおして地域歯科保健の現場を体験し知識と技術を習得する。
実習計画	・ 歯科診療所・病院 歯科口腔外科 ・ 保健センター
成績評価	臨地・臨床実習終了後 総合評価
教科書	松井恭平ほか編：歯科衛生士のための歯科臨床概論、医歯薬出版
参考書等	
履修上の注意	全出席を基本とします

2025年度

科目名	歯周基本治療学
担当教員	松本 利一
単位（時間数）	2単位（30時間）
履修対象・形態	3年生・前・後期 講義
授業科目概要	歯周病は口腔領域における2大疾患の一つと称されている。高齢化社会に伴い歯周治療の重要性が高まってきている。その従事者である歯科衛生士にとって歯周病学は大変重要な学問の一つである。本講義では歯周治療の基礎知識や歯周治療の実際、歯周治療における歯科衛生士の業務を学ぶ。
授業計画	① 歯周治療とは ② 歯周組織の正常像について ③ 歯周病の分類 ④ 歯肉炎と歯周炎 ⑤ 歯周病の病因 ⑥ 原因菌 バイオフィルム ⑦ 歯周病の診査、診断 ⑧ 疫学、指数について ⑨ 歯周病の病態 ⑩ 歯周基本治療 ⑪ 歯周外科 ⑫ インプラント治療 ⑬ メインテナンス ⑭ 歯科衛生士の役割 ⑮ まとめ
成績評価	単位試験
教科書	全国歯科衛生士教育協議会編：最新歯科衛生士教本 歯周病学、医歯薬出版
参考書等	
履修上の注意	

2025年度

科目名	隣接医学
担当教員	大谷 朋弘、道満 朝美
単位（時間数）	1単位（15時間）
履修対象・形態	2年生・後期 講義
授業科目概要	高齢化にともない、生活習慣や基礎疾患を有する患者が急増している。歯科衛生士として必要な医学的知識について学ぶ
授業計画	① 全身と口の関わり ② 診査 診断 ③ 耳鼻咽喉科疾患について ④ 呼吸器疾患について ⑤ 血液疾患について ⑥ 循環器疾患について ⑦ 救急蘇生・バイタルサイン・歯科に必要な検査について ⑧ 救急蘇生・バイタルサインについて
成績評価	単位試験
教科書	まとめ資料を配布（③～⑧について）
参考書等	
履修上の注意	

2025年度

科目名	摂食嚥下療法
担当教員	濱田 理愛
単位（時間数）	1単位（15時間）
履修対象・形態	2年生・後期 講義
授業科目概要	口腔には食べる機能をはじめ味覚、呼吸、構音など、多くの機能があり、傷病や障害、あるいは加齢による口腔機能の低下を予防するうえで、口腔機能の療法は重要となっている。歯科衛生士もチーム医療の一員として目的と情報を共有し、歯科衛生士の専門性を高める必要がある。本講義では摂食嚥下療法の関する基礎知識について学ぶ。
授業計画	① 摂食嚥下のメカニズム ② 摂食嚥下障害とは ③ 嚥下の検査について（スクリーニング検査、嚥下内視鏡検査、嚥下造影検査） ④ 口腔ケアについて ⑤ 摂食嚥下リハビリテーションについて（間接訓練、直接訓練、食事支援） ⑥ 誤嚥時の対応について ⑦ 代替栄養について ⑧ チームアプローチについて
成績評価	単位試験
教科書	最新歯科衛生士教本 高齢者歯科第2版 医歯薬出版
参考書等	
履修上の注意	

2025年度

科目名	リハビリテーション学
担当教員	河合 稔弘
単位（時間数）	1単位（15時間）
履修対象・形態	2年生・前期 講義・実習
授業科目概要	医療、介護、保健の領域で多職種が連携し協力する状況が増えてきている。その背景には多様な疾患や生活スタイルが増加しているからである。多様な疾患に対する歯科衛生領域での具体的な関わりとしては、歯科受診時の車いす対応、各種の杖への対応などがある。またあらゆる疾患の知識を習得することで、多様な対象者への対応が可能となる。さらに、日々の臨床において自身の体調管理の方法を学ぶ。
授業計画	① リハビリテーション概要
	② 医学的リハビリテーション
	③ 血圧の計測（実習）
	④ 身体計測（実習）
	⑤ 疾患の紹介 脳卒中、パーキンソン病
	⑥ 疾患の紹介 腰痛症など
	⑦ 松葉杖・車椅子の操作・介助
	⑧ マッサージ体験
成績評価	授業への取り組みと終講試験により評価する
教科書	特に指定しない（資料配布予定）
参考書等	講義内で適宜紹介する
履修上の注意	実習時にはふさわしい服装で参加すること

2025年度

科目名	東洋医療
担当教員	西口 陽通
単位（時間数）	1単位（15時間）
履修対象・形態	3年生・前期 講義・演習
授業科目概要	東洋療法（主に手技療法）の基礎理論と演習を通じて認識を深める。
授業計画	① 東洋医学の「病」と「気」と「痛み」について
	② 昔話にみる東洋療法 因幡の白ウサギ・かぐや姫・桃太郎・一寸法師
	③ 肩こり腰痛は昔からあった「あんまマッサージ指圧（あま指）」について
	④ 東洋医学的な健康管理 養生訓 陰陽五行理論
	⑤ ツボについて気の流れ、十二経路、経穴とは？
	⑥ 「あま指」体験
	⑦ まとめ（関連学説）確認
成績評価	提出物 及び 試験
教科書	プリント配布
参考書等	
履修上の注意	

2025年度

科目名	接遇・面接技法論
担当教員	大西 美代子
単位（時間数）	1 単位（15 時間）
履修対象・形態	2 年生 後期
授業科目概要	社会人として良好なコミュニケーションが取れ、印象よく人前で話すことができること、また、就職活動中、面接で印象よく動き、話せることを目標とする。そのために必要な姿勢・態度・敬語を中心とした話し方の基本や重要性を知り、表現できるよう、練習・実践していく。
授業計画	① マナーとは その必要性 基本姿勢とお辞儀 ② コミュニケーション能力について 挨拶の重要性 他己紹介 ③ 好感の持てる話し方 敬語の必要性和種類 ④ 敬語の基本 人前で話すロールプレイング ⑤ 敬語の使い分け 話し方練習 ⑥ 面接の流れと留意点 動きの確認 ロールプレイング ⑦ 面接実践練習（試験形式） ⑧ 敬語の応用 ケーススタディ ⑨ 単位試験
成績評価	授業の取り組み姿勢やロールプレイングと筆記試験
教科書	オリジナル資料
参考書等	必要に応じて配付
履修上の注意	基本的に座学 毎時間、各自が知識を習得し、それを使って考えて解答、または行動することで、実践に活かせるように心がけてほしい。

2025年度

科目名	総合演習
担当教員	鈴木亜紀 今井恭子
単位（時間数）	1 単位 （15 時間）
履修対象・形態	3 年生 後期 講義・演習
授業科目概要	国家試験に向けての全科目対応した講義・演習を実施する。
授業計画	① 人体と構造と機能 ② 歯・口腔の構造と機能 ③ 疾病の成り立ちと回復の促進 ④ 歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み ⑤ 臨床歯科医学 ⑥ 歯科予防処置論 ⑦ 歯科保健指導論 ⑧ 歯科診療補助論
成績評価	単位試験
教科書	資料配布
参考書等	
履修上の注意	全出席を基本とする